

令和4年度自己評価シート(年度末評価)

校番		学校名	広島県尾道南高等学校	校長氏名	中野 尚人	定時制	本校
----	--	-----	------------	------	-------	-----	----

自己評価 (中間評価)	A	計画はととも順調に進んでいる。	C	計画はあまり順調に進んでいない。
	B	計画は概ね順調に進んでいる。	D	計画はまったく順調に進んでいない。

1 中期(3年間)経営目標及び短期(本年度)経営目標

【中期(3年間)経営目標】 (1) 授業改善を行い、一人の生徒もおいていかない授業を探究する。	評価			総合評価
	1年目	2年目	3年目	
	B			
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 生徒が主体的に学習しようとする意欲や態度を育て、基礎学力を向上・定着させる。				
【評価指標】 振り返りシートでの授業内容に関する肯定的評価の割合	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	84%	85%	89%	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 授業のルールを確立し、生徒の授業への出席を定着させる。				
【評価指標】 生徒の授業出席率	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	72%	75%	77%	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 「一人もおいていかない授業」へ向けて、個別最適な学びを進める授業改善を計画し実施する。				
【評価指標】 生徒の授業満足度	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	新規	70%	93%	

【中期(3年間)経営目標】 (2) 学校行事や生徒会活動に生徒が主体的に取り組む。	評価			総合評価
	1年目	2年目	3年目	
	B			
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す ホームページの更新回数を増やし、本校関係者及び本校に入学を希望する者が本校の教育活動を理解してもらう。				
【評価指標】 ホームページ更新回数	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	—	35回	41回	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す スタートアップセミナーで生徒の学校への定着を図り、オープンスクールでは、中学校関係者、保護者、その他関係者に本校の教育活動を理解してもらう。				
【評価指標】 事後アンケートにおいて肯定的評価80%以上	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	—	80%	83%	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 生徒会行事を中心とした活動を生徒が企画・参加することにより主体性や協調性を身に付ける。				
【評価指標】 生徒会行事の満足度(肯定的評価)	前年度 現状値	本年度		評価
		目標値	実績値	
	—	80%	79%	

【中期(3年間)経営目標】 (3) 自らを振り返り、アイデンティティーを確立し、仲間意識や帰属意識を高める。	評価			総合評価
	1年目	2年目	3年目	
	B			
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助する。				
【評価指標】 生徒の学校充実度(肯定的評価)	前年度 現状値	本年度 目標値 実績値		評価
	83%	80%	88%	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 自己理解・他者理解を深め、社会の中での自分の在り方(生き方)を考えさせる取組や支援を行う。				
【評価指標】 キャリア教育関係の取組(総合的な探究の時間)について振り返りにおける肯定的評価の割合	前年度 現状値	本年度 目標値 実績値		評価
	—	70%	85.2%	
【短期(本年度)経営目標】 休転退学者0を目指す 卒業後の社会的・職業的自立に向けて、職業選択や自己決定に関わる能力を育成する。				
【評価指標】 自らの進路実現に向けて意欲的に活動(就労・検定・ボランティア含む)している生徒の割合	前年度 現状値	本年度 目標値 実績値		評価
	64.9%	75%	65.9%	

※ 学校経営計画に記載している中期(3年間)経営目標及び短期(本年度)経営目標の数に応じて表を追加・削除する。

2 年度末評価のまとめ

評価結果の分析	成果	<p>教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (1)は本年度の目標値をすべて超えることができた。 <p>総務・保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ(以下、HP)の回数は目標を上回っている。それだけでなく、保健だよりや南高だよりなど、生徒が中心となって制作したものもアップできている。 ○ スタートアップセミナーは、1年生のアンケートにおいて、肯定的な回答が83%だった。教育効果が高いと思われる。 <p>生徒支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活充実度に関して、昨年度は肯定的評価が83%だった。今年度は、昨年度と比較して、5%上昇している。 ○ 合同運動会の参加率においては、昨年度の39%から57%と大幅に増加している。 <p>進路支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度から実践している4年間のキャリアストーリーの中で、1学年での「自己探求(自分史)」「生活体験文」を通じて、自己の理解を深めていく活動を意欲的に行う生徒が多かった。
	課題	<p>教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (1)授業の出席率は上昇しているが、遅刻率も上昇している。 <p>総務・保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ HPの更新に関しては、本校の教育活動を積極的に発信していくために、他の分掌と連携し、公開できる内容を精査していく。年間35回更新する目標の達成に向け、順調に本校の情報を発信できている。2学期には、多くの学校行事を実施しており、年間35回更新するという達成目標のために順調に本校の情報を発信できている。また、保健だよりなど、昨年度まで情報として発信していなかった内容に関しても、新たな取組として、HPに載せており、量だけでなく質にも力を入れている。 ○ スタートアップセミナーについては、来年度以降も同様の内容で継続していく。オープンスクールについては、部会等を経て再度内容を検討していく。 <p>生徒支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「一人の生徒もおいていかない」ことをめざし、対話を繰り返しながら生徒が充実感を得られる支援を継続していく必要がある。 <p>進路支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活体験文などを通して、自分自身について語る事が難しい生徒がいる。

	短期(本年度)経営目標	<p>成果</p> <p>教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りシートでの授業内容に関する肯定的評価の割合は昨年度(84%)より上昇した。各教科で教育的な支援の観点に立った授業や教材作成、試験問題、発問や言葉がけ等の工夫・改善の積み重ねを継続した結果と考えられる ○ 授業出席率は77%で昨年度(72%)より上昇したが、授業遅刻率も昨年度7.1%から9.0%へ増加した。 <p>総務・保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページは、今年度41回更新した。目標(年間35回更新)を達成し、順調に情報発信が行えている。 ○ スタートアップセミナーは、1年生のアンケートにおいて、「楽しかった」「学校に来やすくなった」など肯定的な回答が83%だった。 <p>生徒支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活充実度は肯定的評価が88%だった。 ○ 生徒会行事の満足度(肯定的評価)は79%だった。目標の80%に近い結果となった。 <p>進路支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路に関わる講演会等の振り返りシートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合がそれぞれ80%以上であり、将来の仕事や進路に向けて考えるきっかけとなった生徒が多い。 ○ 進路実現に向けて意欲的に活動している生徒の割合については、前年度より増加している。
	課題	<p>教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の遅刻率が上昇している。 <p>総務・保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページの更新に関しては、本校の教育活動を積極的に発信していくために、更新のプロセスを周知し、スムーズな発信ができるような体制を構築する必要がある。 ○ スタートアップセミナーについては、来年度以降も継続していくことが望ましい。しかし、生徒が取り組みやすい内容となるように、さらに検討を重ねる必要がある。 <p>生徒支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別指導については、新たに授業反省と放課後面談を実施することにより、大幅に対話を増やす指導に改善した。生徒の状態をより把握でき、きめ細やかな指導体制が構築できつつあり、継続した指導が必要である。 ○ 学校の教育活動全体を通じ、生徒の自己存在感を与えることができるように指導・支援してきた効果が出てきていると考える。しかし、学校行事に参加する意欲を高める支援は引き続き必要である。 <p>進路支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な探究の時間の内容と意義について理解が不十分な生徒がいる。 ○ 検定試験の受験希望者数が停滞している。ボランティア活動も参加できていない。(本校主催のものは実施できていない)
今後の改善方針		<p>教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業満足度調査では教材の取組みやすさ、授業内容への興味・関心の項目に関して高評価を得た。来年度は全員から高評価を得られるよう、各授業での支援や、特別支援教育支援員・教科アシスタントと連携をした授業を継続していきたい。 ○ 授業出席率は1年生:90%、2年生:61.0%、3年生:75.0%、4年生:80.2%であった。2、3年生の出席率が向上するような取組みを考えていく必要がある。 <p>総務・保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ HPの更新に関しては、細やかな情報発信を心がけ、すべての職員が更新事項を意識することを確認する。 ○ スタートアップセミナーについては、生徒の実態に応じて内容を精査し、教育効果を考慮したものにする。 <p>生徒支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対話を繰り返す指導を継続し、生徒の自己指導能力が育成されるように指導・支援を粘り強く続けていく。 ○ 生徒会行事を、生徒会執行部が主体的に活動できる方法で運営する。また、多くの生徒が参加しやすいような形に内容や時期を見直す。 <p>進路支援部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒、保護者の意をくみ取り、ハローワーク等の校外の機関、担任・進路指導部が1つのチームとして連携を取りつつ、生徒一人一人に合った進路指導の在り方を模索する。 ○ 卒業後の進路決定に向けて、具体的なイメージを持つことができる講演会や行事などについて、実施時期や講師などをさらに精選する必要がある。
学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方針		